

6年生「提案発表会」を実施しました



10月10日のNo.16の続報です。6年生の「みんなでよりよいまちづくりをしよう」の本番が、先日28日(火)に行われました。1か月前の熟議の時には、まだプレゼンも発表内容も固まっておらず、当日ご参加いただいた多くの大人の方にご指導をいただきましたが、その本番の実施が28日でした。

熟議後約1か月の間に、6年生はグループで、さらに発表内容を検討し、聞いてもらえる、見てもらえる発表にブラッシュアップしていました。熟議の時にいただいたアドバイスもかなり反映されていたようです。

この日の会には、児童の発表のカテゴリー「観光」「環境」「安全」「歴史」「伝統」「人権」に関わる品川区役所の関係部署の職員の方にゲストティーチャーとしてご参集いただきました。児童の意見が、単に発表会で発表するだけではなく、(提案が採用されるかどうかはもちろんですが)品川区役所で提案内容と関係のある分野でお仕事をしていらっしゃる方に話を聞いていただき、かつコメントをもらう経験は大変貴重であると考えました。何より、ここまで児童は長い時間をかけて課題と提案を練り続ける努力をしてきました。その頑張りに応えてあげたいという思いが大きかったです。

ゲストティーチャーは、文化観光戦略課、品川区清掃事務所、地域交通政策課、地域産業振興課、人権・ジェンダー平等推進課の各職員の方々です。他にも、熟議の時にお世話になった品川観光協会や歴史探訪でお世話になったガイドしながわのみなさん、校区教育協働委員をはじめとした地域のみなさん、5年生、そして保護者のみなさんにもおいでいただきました。

「大人、しかも提案と関係のある分野の仕事をしていらっしゃる方に、提案を聞いていただき、しかもコメントまでもらえる機会は、そうあるものではない」「ここまで頑張った『内容』だから大丈夫、堂々と発表してほしい」と児童には言葉をかけましたが、どのグループも本当によく頑張りました。

ゲストティーチャーのみなさんからは、「参考になる提案だった」「今後の仕事の中で生かしていきたい」という、うれしい言葉をたくさんいただきました。「景品など、お金がかかるものは、予算との兼ね合いもあるので、難しい面もある」「提案に似ていることは、実はすでに区でも取り組んでいる(知られていないと反省)」という実情をお話いただいたり、「発表の態度が素晴らしかった」とほめていただいたりもしました。よい経験ができました。5年生にはよい刺激になったのではないのでしょうか。みなさまありがとうございました。